ボーリング柱状図

調　査　名　一般国道375号(引宇根工区)道路改良事業に伴う測量・地質調査・解析等業務(交付金)

事業・工事名

ボーリングNo.	5	2	3	2	1	6	6	2	0	0	0

シートNo.

ボーリング名	BP-6V	調査位置	広島県三次市日下町地先	北緯	34° 48' 26.3270"	
発注機関	広島県北部建設事務所	調査期間	平成28年 8月 4日～平成28年 8月 8日	東経	132° 46' 55.4860"	
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	174.55m	角度	180° 上 90° 下 0°	方向	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機	東邦地下工機D-1型	ハンマー落下用具	半自動型
総掘進長	17.00m								エンジン	ヤンマーディゼルNFD13-EK	ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標尺 m	標高 m	深度 m	柱状図	岩種区分	色調	硬軟	コア形状	割れ目の状態	風化	変質	記事	コア採取率(%) 最大コア長 cm RQD[%]	岩級区分	孔内水位/測定月日	標準貫入試験 深度 m	打撃回数/貫入量 回/cm	N値	原位置試験	室内試験	掘進月日	掘進速度 cm/時	孔径/孔壁保護	コアチューブ/ビット	給圧 MPa	回転数 rpm	送水圧 MPa	送水量 l/分	排水量 l/分
1	173.55	1.00		砂礫	暗褐						表土と考えられる。φ2～50mm位の亜角～角礫が、細粒分と1：1位の割合で混じる。粘性分混じる。				1.15 10/30 1.45													
2											崖錐堆積物と考えられる。φ2～60mm位の亜角～亜円礫が50～60%位の割合で混じる。				2.15 16/30 2.45													
3											GL-2.0m付近、植物片あり。マトリックスは中～粗砂。				3.15 8/30 3.45													
4															4.15 31/30 4.45													
5					明褐						若干粘性分混じる。				5.15 34/30 5.45													
6											GL-4.7～4.8m付近、φ80mm位の玉石あり。				6.15 16/30 6.45													
7															7.15 11/30 7.45													
8														8/6 7.75	8.15 27/30 8.45					8/5	254	S/MC						
9	165.15	9.40													9.15 50/24 9.39						60							
10	164.55	10.00				C	Ⅲ		γ	1	全体的に縦方向と水平方向の亀裂が多く、短柱～岩片化している。硬さはやや軟質。強風化している。	17[33](100)	CL	8/8 10.05	10.00 50/5 10.05					56							
11	163.35	11.20					Ⅳ			2	GL-9.4～10.0m付近コア柱状をなすものの、縦方向の亀裂あり。褐色の狭在物が挟まる。	0[0](100)									55	90	HW/DI					
12	162.85	11.70				D			δ	3	GL-10.0～11.2m付近、縦方向と水平方向の亀裂多く。岩片化している区間もある。	20[20](100)	DH		11.00 50/4 11.04						124			0.1	清水/12	10
12	162.55	12.00				C	Ⅲ		γ	2			CL															
12	161.75	12.80		流紋岩質溶結凝灰岩	乳褐	D	Ⅲ～Ⅳ	c	δ	3	GL-11.2～11.7m縦亀裂に沿って鉱物の溶脱跡あり、原岩の長石が熱水変質した痕跡と推測する。	24[24](100)	DH																
13									γ	2	GL-11.7～12.0m付近、コア形状をなすが、やや軟質。	25[50](100)	CL															
14											GL-12.5～12.7m付近にも同様の鉱物の溶脱跡あり。	19[33](100)																
15	159.55	15.00				C					GL-12.8～15.0m付近、たて方向と40～50°位の亀裂多くなり岩片化している区間あり。											HW/DI					
15							Ⅲ			1	GL-15.0～16.3m付近、亀裂はやや少なくなる。コアは柱状をなす。やや硬質である。	30[63](100)	CM											0.1	清水/15	0
16	158.25	16.30					Ⅳ				GL-16.3～17.0m付近、縦方向と30～40°位の亀裂多く、短柱状である。やや軟質。	20[20](100)	CL															
17	157.55	17.00																		8/8	143							
18																												
19																												
20																												
21																												
22																												